



## 7月の学級づくり【小学校版】

7月は、キャンプや高原学校、臨海学習等の行事があり、その準備に追われる時期です。また、後半は、夏休みの準備、1学期のまとめの時期です。学級で行ってきた活動を振り返り、それぞれのよさや頑張りがみとめられて、楽しい夏休みを迎えられるようにしていきたいですね。

### ☆宿泊行事での生徒指導ポイント☆

#### ☺ 予測と準備で大成功！

- ☑ ケガ・事故に対する対応を予測☺  
普段の学校生活では思いもよらないケガや事故が発生することもあります。例えばキャンプでの火傷や臨海学習での裂傷等にどう対処するかを予測してマニュアル化しましょう。
- ☑ 上級生からのアドバイスでやる気増幅☺  
同じ行事の思い出を学級交流や集会などで事前に上級生から聞き、個人・学級として、良かったこと・気を付けることをメモさせるなど焦点化すれば、活動意欲も高まります。
- ☑ 行事の成果を普段の学校生活に活かす☺  
普段の学校生活では見えない子どもたちのよさを見逃さずに、事後指導で学級経営に反映させる準備をしておきましょう。職員によるデジカメ記録も具体性が伝わり効果的です。

### 「わたし、がんばったんだよ」

～ 子どもと家庭が、成長を確認 ～

入学・進級、教室が変わり、担任も変わり、僅かな環境の変化にも敏感に心が揺さぶられる子どもたちが、意識しないうちにも緊張しながら過ごした1学期でした。まずはその頑張りを自分で気付けるよう、「運動会」「音楽会」などの大きな行事や、学級・学年で取り組んだ活動や学習を写真やビデオを使って振り返り、『がんばった自分』を想起させるとよいでしょう。低学年ではそれを絵日記風にまとめたり、高学年では「自分への手紙」などで自己評価したりする時間が必要です。

学級担任として、自分が受け持つ子どもたちの成長を素直に喜び、その喜びを学級通信などで家庭に伝えましょう。子どもの成長を家庭でも喜んでもらい、話題にしてもらえれば、夏休み明け新たな気持ちで期待感たっぷりの子どもたちの顔が見られると思います。

### やる気や自信につながる通知票に

2学期のやる気や自信につながるように文章表現に気を付け、子どもの伸びている姿を分かり易くていねいに書き、2学期のやる気や児童の自信につながるような書き方をしましょう。

#### 具体的な姿を

学びの姿、係の取組、友達とのかかわりなど、よいところを中心に、具体的な姿を書きましょう。そのためは、日ごろから一人一人の記録を気付いたときにメモしておくことが、通知票の時期に役立ちます。

#### 課題を書くときは

「課題は」と書くのではなく、何をどう改善すればよくなるか、その糸口を示して、明るい展望や希望がもてるように書きましょう。

最後に校長先生や教頭先生などに見てもらい、アドバイスをいただきましょう。

### 支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

#### 「授業中に席を離れてしまう児童」

視覚的あるいは聴覚的な刺激に影響を受けやすいですか？

窓側を避けるなど、刺激の少ない座席の位置にしてみても、

黒板に集中しやすいように、学級目標は文字のみに。黒板横に掲示物を隠すカーテンを。全体の指示で、内容を理解していないことがありますか？

児童の意識を教師に向けてから、分かりやすく、端的に具体的な指示を。

集中できる時間が短いですか？

集中できる時間を把握し、例えば15分を区切りとする学習を組み立て、授業の流れを一定にしてみても、

授業中や休み時間に身体を動かす場面を。